

環境農林水産常任委員会資料

令和6年9月19日

環境森林部

	ページ
1 予算議案	
○議案第1号 令和6年度宮崎県一般会計補正予算（第4号）	3-6
・令和6年度環境森林部歳出予算（課別）	
・繰越明許費補正（追加）	
・令和6年度9月補正歳出予算説明資料	
2 報告事項	
○県が出資している法人等の経営状況について	
・一般社団法人宮崎県林業公社	7-8
・公益社団法人宮崎県林業労働機械化センター	9
3 その他報告事項	
○第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実施について	10-23
○第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の実施について	24-33
○野生鳥獣による農林作物等の令和5年度被害額について	34-37
○令和6年8月8日の地震による森林・林業関係被害状況について	38
○令和6年台風第10号による森林・林業関係被害状況について	39-41

1 予算議案

【議案第 1 号】 令和 6 年度宮崎県一般会計補正予算（第4号）

令和 6 年度環境森林部歳出予算（課別）

（単位：千円）

区分	令和 6 年度						令和 5 年度	
	補正前の額	補正額	財源内訳			補正後の額	当初予算額	最終予算額
			国庫支出金	その他特定	一般財源			
環境森林部	22,380,122	214,796	136,378	70,400	8,018	22,594,918	21,790,116	25,743,101
一般会計	21,124,677	214,796	136,378	70,400	8,018	21,339,473	20,554,135	24,600,205
環境森林課	2,992,521	0	0	0	0	2,992,521	2,704,623	3,332,276
環境管理課	496,812	0	0	0	0	496,812	353,148	304,987
循環社会推進課	579,074	0	0	0	0	579,074	538,015	507,761
自然環境課	3,734,704	214,796	136,378	70,400	8,018	3,949,500	3,623,148	5,039,587
森林経営課	10,031,670	0	0	0	0	10,031,670	9,845,953	11,539,307
山村・木材振興課	3,289,896	0	0	0	0	3,289,896	3,489,248	3,876,287
特別会計	1,255,445	0	0	0	0	1,255,445	1,235,981	1,142,896
森林経営課	340,912	0	0	0	0	340,912	334,149	262,483
（山林基本財産）	140,976	0	0	0	0	140,976	125,317	112,258
（拡大造林事業）	199,936	0	0	0	0	199,936	208,832	150,225
山村・木材振興課	914,533	0	0	0	0	914,533	901,832	880,413
（林業改善資金）	914,533	0	0	0	0	914,533	901,832	880,413

【議案第 1 号】令和 6 年度宮崎県一般会計補正予算（第4号）

繰越明許費補正（追加）

課 名	事 業 名	繰 越 額(千円)	完成予定年月日	繰 越 理 由
自然環境課	山 地 治 山 事 業	1,137,867	令和7年9月30日	工法の検討等に日時を要したことによるもの。
	小 計	1,137,867		
森林経営課	地 方 創 生 道 整 備 推 進 交 付 金 事 業	435,000	令和7年9月30日	用地交渉等に日時を要したことによるもの。
	森 林 環 境 保 全 整 備 事 業	134,000	令和7年9月30日	用地交渉等に日時を要したことによるもの。
	山 の み ち 地 域 づ くり 交 付 金 事 業	88,000	令和7年9月30日	工法の検討等に日時を要したことによるもの。
	小 計	657,000		
合 計		1,794,867		

1 予算議案

【議案第 1 号】令和 6 年度宮崎県一般会計補正予算（第4号）

令和 6 年度 9 月補正歳出予算説明資料（目別総括表） 自然環境課

（単位：千円）

区分	令和 6 年度					令和 5 年度		
	補正前の額	補正額	財源内訳			補正後の額	当初予算額	最終予算額
			国庫支出金	その他特定	一般財源			
自然環境課 計	3,734,704	214,796	136,378	70,400	8,018	3,949,500	3,623,148	5,039,587
一般会計	3,734,704	214,796	136,378	70,400	8,018	3,949,500	3,623,148	5,039,587
（款）衛生費	13,126	0	0	0	0	13,126	13,126	12,636
（項）環境衛生費	13,126	0	0	0	0	13,126	13,126	12,636
（目）環境保全費	13,126	0	0	0	0	13,126	13,126	12,636
（款）農林水産業費	3,202,496	214,796	136,378	70,400	8,018	3,417,292	3,090,940	4,625,956
（項）林業費	3,202,496	214,796	136,378	70,400	8,018	3,417,292	3,090,940	4,625,956
（目）林業総務費	15,778	0	0	0	0	15,778	15,778	14,883
（目）林業振興指導費	32,539	0	0	0	0	32,539	32,539	31,539
（目）森林病虫害防除費	92,072	0	0	0	0	92,072	92,072	96,496
（目）治山費	2,936,691	214,796	136,378	70,400	8,018	3,151,487	2,831,323	4,374,218
（目）狩猟費	125,416	0	0	0	0	125,416	119,228	108,820
（款）土木費	219,082	0	0	0	0	219,082	219,082	227,832
（項）都市計画費	219,082	0	0	0	0	219,082	219,082	227,832
（目）公園費	219,082	0	0	0	0	219,082	219,082	227,832
（款）災害復旧費	300,000	0	0	0	0	300,000	300,000	173,163
（項）農林水産施設災害復旧費	300,000	0	0	0	0	300,000	300,000	173,163
（目）林業災害復旧費	300,000	0	0	0	0	300,000	300,000	173,163

【議案第 1 号】 令和 6 年度宮崎県一般会計補正予算（第4号）

令和 6 年度 9 月補正歳出予算説明資料 【一般会計（事項別）】 自然環境課

（単位：千円）

目	事項					
	補正額	事項名	補正前の額	補正額	説明及び事業名	補正後の額
治山費	214,796	緊急治山事業費	147,946	214,796	公共災害関連緊急治山事業に要する経費【災害復旧等に伴う補正】 1 災害関連緊急治山事業 204,568 （国 2 / 3 県 1 / 3） 小原（椎葉村）ほか 1 箇所 2 事務費 10,228	362,742

県が出資している法人等の経営状況について

森林経営課

○一般社団法人宮崎県林業公社

(1) 設立の目的

当公社は、造林、育林等の森林及び林業に関する事業その他緑化に関する事業を行うことにより、県土の保全及び森林資源の培養を図り、緑資源のもつ多面的な機能を総合的かつ高度に発揮させ、もって地域経済の振興と住民の福祉の向上に寄与することを目的として、昭和42年に設立された。

(2) 社員 19団体

宮崎県

12市町村（五ヶ瀬町、高千穂町、日之影町、延岡市、美郷町、諸塚村、椎葉村、門川町、日向市、西都市、西米良村、木城町）

4森林組合（西臼杵森林組合、延岡地区森林組合、耳川広域森林組合、児湯広域森林組合）
宮崎県森林組合連合会、宮崎県緑化樹苗農業協同組合

(3) 組織（令和6年4月17日現在）

①役員 16名（理事長1名、副理事長1名、常務理事1名、理事10名、監事3名）

②職員 7名（事務局長1名、総務企画課1名、業務課5名）

(4) 出資の状況

13,500千円

（うち県出資金：5,000千円 出資比率：37.0%）

(5) 特記事項

分収林特別措置法に基づく森林整備法人として、昭和60年1月に知事の認定を受けている。

県が出資している法人等の経営状況について

森林経営課

○一般社団法人宮崎県林業公社

(6) 収支実績

① 第4期経営計画（改訂計画）の実行

林業公社は、令和5年度を始期とする第4期経営計画（改訂計画）（計画期間：令和5年度から令和9年度）に基づき、経営改善に取り組んでいる。

② 令和5年度の収支計画及び実績

台風災害等により十分な間伐が実施できず、間伐及び補助金等収入などは計画を下回ったものの、追加の主伐公売を実施するなど、計画以上の主伐を行うことにより、収益を確保した。
また、得られた収益で将来的な償還金の利息軽減に繋がる繰上償還を行うとともに、年度末資金残高は目標の3億3,470万3千円を上回る額を確保した。

表1 収支計画及び実績（令和5～9年度）

年度 区分			R5		R6		R7		R8		R9	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
収入	伐採収入	主伐	374	541	374		374		374		374	
		間伐	128	21	128		128		128		128	
		計	502	562	502		502		502		502	
	補助金等		345	84	366		387		407		428	
	負担金収入		59	4	64		70		75		81	
	借入金	県	688	688	728		768		865		980	
		政策金融公庫	182	182	111		105		94		71	
		計	870	870	839		873		959		1,051	
	収入合計		1,776	1,520	1,771		1,831		1,944		2,062	
	支出	直接事業費		414	88	438		463		487		511
分収交付金		129	192	129		129		129		129		
一般管理費等		72	86	72		72		72		72		
償還金		元金	1,130	1,115	1,105		1,146		1,238		1,335	
		利息	31	30	26		22		18		14	
		計	1,161	1,146	1,132		1,168		1,256		1,349	
支出合計		1,776	1,512	1,771		1,831		1,944		2,062		
差引収支		0	8	0		0		0		0		
年度末資金残高		335	359	335		335		335		335		

※ 百万円未満の単位を四捨五入しているため、各項目と合計の欄は一致しないことがある。

県が出資している法人等の経営状況について

山村・木材振興課

○公益社団法人宮崎県林業労働機械化センター

(1) 設立の目的

当センターは、高性能林業機械の共同利用や林業事業体の雇用管理等の改善、新たに林業に就業しようとする者への就業支援等を行い、低コスト林業の促進や林業労働力の確保を図ることを目的として、平成7年に設立された。

(2) 会 員

3団体（宮崎県、宮崎県森林組合連合会、宮崎県造林素材生産事業協同組合）

(3) 組 織（令和6年4月1日現在）

① 役員 8名（理事長1名、副理事長2名、専務理事1名、理事2名、監事2名）

② 職員 2名（事務局長1名、プロパー職員1名）

(4) 出資の状況

9,000千円（うち県出捐金：4,000千円 出捐比率：44.4%）

(5) 特記事項

① 「林業労働力の確保の促進に関する法律（以下、「労確法」という。）」に基づき、「林業労働力確保支援センター」として、平成8年12月に知事の指定を受けている。

② 当法人が行っている実施事業（相談・指導業務、共同利用業務等）は、労確法第12条に基づく業務である。

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

(1) 第四次宮崎県環境基本計画の概要

【計画期間】

令和3年度から令和12年度までの10年間

【長期的な目標】

ひと・自然・地域がともに輝く 持続可能なみやざき

【分野別の施策の展開】

- ① 脱炭素社会の構築
- ② 循環型社会の形成
- ③ 地球環境、大気・水環境等の保全
- ④ 生物多様性の保全
- ⑤ 環境保全のために行動する人づくり
- ⑥ 環境と調和した地域・社会づくり

(2) 令和5年度の主な取組状況

① 脱炭素社会の構築

ア 温室効果ガス排出削減

家庭、産業・業務、運輸の各部門における温室効果ガスの排出削減に向けた普及啓発等を実施した。

- ◆個人・事業者への省エネ設備の導入補助（159件）
- ◆2050年ゼロカーボンの達成に向けた行動ブックの作成、配布
- ◆事業者向け排出量可視化支援（101社）アドバイザー派遣（23社）等

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実組について

環境森林課

イ 再生可能エネルギー等の利用促進

再生可能エネルギーの導入に対する県民や事業者等の気運醸成を図るとともに、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた支援を行った。

- ◆個人・事業者への太陽光発電設備等の導入補助（398件）
 - ◆木質バイオマスの収集運搬に係る経費支援（7地域協議会）
- 等

ウ 二酸化炭素吸収源対策

森林県である本県の特性を生かし、二酸化炭素吸収源対策としての森林整備等の取組を推進した。

- ◆植栽、下刈り、除間伐等の支援
（造林：1,947ha、下刈り：9,531ha、除間伐：1,208ha）
 - ◆保安林の整備（36か所）
 - ◆企業の森づくり協定締結（6企業）
- 等

エ 気候変動への適応

気候変動影響や適応策に関する情報収集・提供を行うとともに、農林水産業、自然災害、自然生態系等各分野における気候変動への適応策の実組を推進した。

- ◆啓発紙の発行・配布（年4回、各2,500部）
 - ◆野生鳥獣類の侵入防止施設等の整備（獣害防止ネット1,510m）
- 等

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実績について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値
			R3	R4	R5	R6	R7	R7		R12
温室効果ガス総 排出量(CO ₂ 換算) ※森林等吸収量 控除後	千t-CO ₂	6,793 [H29]	5,848 [R1]	5,847 [R2]	5,218 [R3]			4,881	93.6%	4,073
再生可能エネル ギー総出力電力	MW	2,318	2,697	2,748	2,863			3,098	92.4%	3,600
森林等の二酸化 炭素吸収量 (CO ₂ 換算)	千t-CO ₂	3,800 [H29]	4,024 [R1]	3,897 [R2]	3,838 [R3]			3,768	101.9%	3,555



事業者向け再エネセミナー



「企業の森づくり」協定調印式

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実施について

② 循環型社会の形成

ア 4Rの推進

4Rの普及啓発や廃棄物の発生抑制・減量化、リサイクルの推進、地域資源の有効活用等の促進等を行った。

- ◆「ごみ減量化テキスト」の電子ブック作成
- ◆「みやざきリサイクル製品」の新規認定3製品（合計131製品）
- ◆短尺材・枝条等の林地残材の収集運搬支援（7地域協議会） 等

イ 廃棄物の適正処理の推進

廃棄物の適正処理や不法投棄等の防止、災害廃棄物の処理等の取組を推進した。

- ◆産業廃棄物の排出事業者向け講習会等の開催
（排出事業者向け：341人参加、処理業者向け：197人参加）
- ◆産業廃棄物の不適正処理等に対する行政指導・行政処分
（行政指導：97件、行政処分：5件）
- ◆災害廃棄物処理対策ネットワーク会議の開催（1回）、図上演習の実施（1回） 等

ウ 食品ロスの削減

食品ロスに関する普及啓発や、食品関連事業者等の取組、未利用食品を提供するための活動に対する支援を行った。

- ◆食品ロス削減啓発CMの放送（100回）、食品ロスパネル展（6か所）
- ◆Karada Good Miyazakiフェスタによる普及啓発（来場者：約5,000人）
- ◆食べきり協力店舗の登録（305店舗） 等

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実績について

環境森林課

エ 環境にやさしい製品の利用促進

グリーン購入の取組の促進、木材や木製品、リサイクル製品等、環境にやさしい製品の利用促進を図った。

- ◆木造設計を行う建築士のスキルアップセミナー等の開催（6回）
◆「みやざき木づかい県民会議」の開催（1回）等

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値
			R3	R4	R5	R6	R7	R7		R12
最終処分量	千t	186 [H30]	186 [R2]	207 [R3]	208 [R4]			172	82.7%	165
一般廃棄物の再生利用率	%	15.9 [H30]	17.1 [R2]	17.2 [R3]	16.9 [R4]			20.0	84.5%	25.0
一般廃棄物の最終処分率	%	10.8 [H30]	12.6 [R2]	12.5 [R3]	13.7 [R4]			10.0	73.0%	9.0
みやざきリサイクル製品認定数	品目	101	117	128	131			150	87.3%	200

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実施について

環境森林課



産業廃棄物排出事業者講習会



みやざき木づかい県民会議
(感謝状の贈呈)

③ 地球環境、大気・水環境等の保全

ア 地球環境、大気環境の保全

大気汚染の状況について常時監視を行うとともに、有害大気汚染物質等のモニタリングを行うなどの大気汚染防止対策の取組を推進した。

◆大気汚染の常時監視

(測定局:21局 (一般環境大気測定:16局、自動車排出ガス測定:5局))

◆工場・事業場への立入検査 (157件)

◆有害大気汚染物質等のモニタリング実施 (調査地点:4地点)

等

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

イ 水環境の保全

「水質汚濁防止法」に基づく公共用水域及び地下水の監視や特定事業場への定期的な立入検査等の水質汚濁防止対策を行うとともに、浄化槽設置予定者への講習等の生活排水対策の取組を推進した。

- ◆水質環境基準等監視（公共用水域:238地点、地下水:120地点）
 - ◆浄化槽設置者講習会の開催（参加者数：1,871人）
 - ◆浄化槽法定検査受検啓発（文書発送件数:32,539件）
 - ◆小中学生や子供会等を対象とした水辺環境調査の実施（39団体）
- 等

ウ 化学物質対策

化学物質の製造・使用・廃棄等に関する情報の把握により、県民・事業者・行政による情報交換（リスクコミュニケーション）を行い、安全・安心な生活環境の保全を図る取組を推進した。

- ◆ダイオキシン類の環境調査
（大気:5地点、水質:17地点、底質:15地点、地下水:7地点、土壌:9地点）
 - ◆事業者の化学物質対策の監視・指導（届出事業所:318件）
 - ◆化学物質の製造・使用・廃棄等の実態調査
（調査項目:3種類（大気、水質、底質））
- 等

エ 環境負荷の低減等

環境負荷の低減を図るとともに、公害認定患者等に対する健康観察検診、保健指導及び補償給付などの公害健康被害対策を推進した。

- ◆土呂久地区住民健康観察検診及び補償給付
（検診受診者:47人、法給付適用者:39人）

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実績について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値
			R3	R4	R5	R6	R7	R7		R12
二酸化硫黄（SO ₂ ） の大気環境基準達成率	%	88.2	88.2	94.1	88.2			100	88.2%	100
生物化学的酸素要求量（BOD）の水 質環境基準達成率	%	96.2	97.5	98.7	100.0			100	100.0%	100
生活排水処理率 （生活排水処理人口／県の全人口）	%	82.0	83.5	84.8	85.5			87.7	97.5%	91.8

※環境基準：人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準



大気汚染状況常時監視



「五感を使った水辺環境指標」
を用いた水辺環境調査

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実施について

環境森林課

④ 生物多様性の保全

ア 生物多様性の確保

自然公園、自然環境保全地域等保護地域における生物多様性確保のための取組を推進した。

- ◆野生動植物生息状況等調査の実施
 - ◆野生動植物の保護活動に対する支援（6件）
- 等

イ 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

森林ボランティアが行う森林づくり活動の支援など森林の整備やみやざき林業大学校での人材育成を推進した。

- ◆県民ボランティアの集いの開催（2箇所（参加者：685人））
 - ◆即戦力となる人材や高度な知識や技能を有した技能者の育成（研修受講：589人）
 - ◆広葉樹の植栽（26ha）
- 等

ウ 自然豊かな水辺の保全と創出

自然環境に配慮した河川・海岸づくりや美化活動を進め、快適な水辺環境の保全と創出を図る取組を推進した。

- ◆在来種保全のため外来魚駆除を実施（4箇所）
- 等

エ 自然とのふれあいや配慮

自然公園やひなもり台県民ふれあいの森の維持管理など、自然とふれあう場の確保や利活用を図る取組を推進した。

- ◆ひなもり台県民ふれあいの森の管理運営（利用者数：78,793人）
 - ◆施設整備（国立公園3箇所、国定公園5箇所、九州自然歩道1箇所）
- 等

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実績について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値 達成率	目標値 R12
			R3	R4	R5	R6	R7		
重要生息地の指定（累計）	箇所	11	14	14	14			14 100.0%	14
シカ推定生息数	頭	101,000 [H30]	94,000 [R2]	82,000 [R3]	86,000 [R4]			65,000 75.6%	47,000
森林ボランティア参加団体数（累計）	団体	206	188	184	201			230 87.4%	250
自然公園利用者数	千人	9,289 [H30]	5,709 [R2]	5,059 [R3]	6,101 [R4]			9,300 65.6%	9,300
ひなもり台県民ふれあいの森利用者数	人	86,126	66,049	74,584	78,793			90,000 87.5%	100,000



「水と緑の森林づくり」
県民ボランティアの集い



ひなもり台県民ふれあいの森
キャビン棟

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

⑤ 環境保全のために行動する人づくり

ア 環境教育の推進

環境教育の拠点である「環境情報センター」（県立図書館1階）において、環境教育・学習に関する相談対応や環境講座を開催するとともに、学校や地域に講師派遣を行い、環境教育を推進した。

- ◆環境情報センター運営（利用者数:23,448人、環境講座・出前研修の実施:64回、環境保全アドバイザー派遣:62回）
- ◆ホームページ「みやざきの環境」リニューアル・運営（アクセス数:275,817件）
- ◆「みやざき環境読本」リニューアル、絵本コンテストの実施（応募作品:23作品）
等

イ 環境保全活動の推進

県民、団体、事業者、行政等が協働し、環境保全のための活動を実践する取組を推進した。

- ◆県民総ぐるみで行う環境美化活動「クリーンアップ宮崎」の実施
（参加者:140,655人）
- ◆啓発イベント「みやざきエコフェスティバル」の開催（参加者:約500人）
等

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実績について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値 達成率	目標値 R12
			R3	R4	R5	R6	R7		
水生生物調査（水辺環境調査）参加団体数	団体	41	37	39	39			60	60
こどもエコチャレンジ施設認定数（累計）	施設	195	209	217	221			231	261
環境情報センター利用者数	人	40,968	10,951	16,896	23,448			44,000	47,000
森林環境教育実践校（団体）数	校・団体	56	50	57	52			60	65



環境情報センターにおける環境講座



環境保全に関する普及啓発イベント
「みやざきエコフェスティバル2023」

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実施について

環境森林課

⑥ 環境と調和した地域・社会づくり

ア 環境にやさしい地域・産業づくり

農地や森林の有する国土保全機能を維持するとともに、魅力ある農山村づくりや環境とともに歩む農林水産業や観光業の推進など、環境にやさしい地域・産業づくりを推進した。

- ◆ドローンや地上レーザ機器を用いた計測と従来方法との比較・検証（50.45ha）
- ◆適切かつ効率的な森林施業のための林道や作業道の整備
（林道開設延長：2.6km、森林作業道延長：39.6km）
- ◆公益上重要な森林の広葉樹の植栽：26ha、速やかな再造林：1,022ha 等

イ 快適な生活空間の創出

国県道や公園の管理等により美しい景観・環境づくりを推進するとともに、本県の歴史的・文化的資源の保護・継承を図った。

- ◆国県道における植栽管理や無電柱化の推進（無電柱化：6路線8工区）
- ◆県指定天然記念物「アカウミガメ及びその産卵地」に係る産卵等調査の実施 等

第四次宮崎県環境基本計画に基づく令和5年度の実績について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値
			R3	R4	R5	R6	R7	R7		R12
市街地における幹線道路の無電柱化率 (累計)	%	3.9	3.9	4.3	4.3			5.5	78.2%	6.2



国県道における植栽管理



県指定天然記念物
「アカウミガメ及びその産卵地」

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

(1) 第八次宮崎県森林・林業長期計画の概要

【計画期間】

令和3年度から令和12年度までの10年間

【基本目標】

持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立
～多様な森林（もり）づくりとイノベーションを通じて～

【施策の基本方向】

- ①多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり
- ②持続可能な林業・木材産業づくり
- ③森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

(2) 令和5年度の主な取組状況

① 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

ア 適切な森林管理の推進

計画的な施業による適正な森林管理や森林情報の的確な把握に努めるとともに、森林経営管理制度の主体である市町村の支援体制を強化した。

- ◆県内5地域（五ヶ瀬川、耳川、一ツ瀬川、大淀川、広渡川）のうち、五ヶ瀬川に係る地域森林計画を樹立
- ◆森林クラウドシステムの構築、衛星画像を活用したAI判読による伐採跡地等の森林情報を適時に取得・活用し、無断伐採等の早期発見・指導を実施
(利用登録：26市町村)
- ◆「みやざき森林経営管理支援センター」の設置・運営（市町村への相談対応：56回、研修会開催：7回、令和5年度までの意向調査実績累計面積：14,793ha）等

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の実施について

環境森林課

イ 資源循環型の森林づくりの推進

国の制度事業等活用による資源循環型の森林整備の推進やコストの低減、それを支える優良苗木の生産拡大、効率的で災害に強い路網の整備を進めるとともに、野生鳥獣の被害防止対策に努めた。

- ◆造林・下刈り・除間伐の支援（造林:1,947ha、下刈り:9,531ha、除間伐:1,208ha）
 - ◆早生樹等の造林実証や植栽・下刈りの省力化の実証・調査
（早生樹実証試験地の管理・生育調査：8か所 6.63ha）
 - ◆伐採と造林の連携による再造林の支援（3事業体、10.50ha）
 - ◆コンテナ苗生産施設等の整備支援（8事業体）、
新規コンテナ苗生産者に対する穂木確保支援（13事業体）・試験的生産の支援（12事業体）
 - ◆林道開設(2.6km)、森林作業道開設(39.6km)
 - ◆有害鳥獣捕獲班への活動支援（214班、2,543人）、
有害捕獲への助成（シカ1,360頭、イノシシ703頭）
- 等

ウ 安全・安心な森林づくりの推進

林地の保全や保安林制度の適正な運用に努めるとともに、計画的な治山事業の実施や風倒木・流木の除去を通じて、安全・安心な森林づくりを推進した。

- ◆保安林の指定(指定率：31.7%)、林地開発許可（3件、22.2ha）
 - ◆治山工事（66か所）(山地治山:44か所、緊急治山:6か所、県単治山:16か所)
 - ◆流木の除去（4か所、1,100空m3）
- 等

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時現況値 (R1)	実績値					目標値 達成率	目標値 R12
			R3	R4	R5	R6	R7		
ICTを活用した森林管理・調査 に取り組む事業体数（累計）	者	11	12	16	17			25 68.0%	40
森林経営管理制度における意向 調査実施面積（累計）	ha	1,751	7,955	11,155	14,793			32,300 45.8%	68,200
再造林面積	ha	2,134	2,092	2,151	2,242			2,200 101.9%	2,200
林内路網密度	m/ha	38.7	39.0	39.1	39.2			39.7 98.7%	40.6
シカ推定生息数	頭	101,000 (H30)	94,000 (R2)	82,000 (R3)	86,000 (R4)			65,000 75.6%	47,000
シカ捕獲数	頭	28,932 (H30)	29,604 (R2)	25,565 (R3)	26,113 (R4)			18,000 145.1%	14,000
保安林指定率	%	29.9	31.0	31.3	31.7			31.9 99.4%	33.6
山地災害危険地区の治山事 業着手箇所数（累計）	箇所	2,557	2,589	2,600	2,602			2,655 98.0%	2,737



再造林（スギ苗木の植栽）



わな捕獲技術向上研修会



林道開設事業 岩神・大石線



令和4年度災害関連緊急
治山事業 亀野地区(高原町)

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

② 持続可能な林業・木材産業づくり

ア 効率的な林業経営と原木供給体制の確立

施業の効率化・軽労化に繋がる取組を支援するとともに、持続的な森林経営と原木の安定供給体制の確立を推進した。

- ◆ 林業従事者の軽労化への取組支援（7事業体）
- ◆ 高性能林業機械等の導入支援（導入支援2台、リース支援3台）
- ◆ 原木管理クラウドの実装に向けた取組
（全体構想の構築、原木管理クラウドサーバの設置） 等

イ 木材産業の競争力強化

製材品の加工・流通体制のさらなる効率化・合理化はもとより、大径材の利用推進に加え、林地残材等未利用木質バイオマス活用を推進した。

- ◆ 事業者の経営を支援するための相談窓口としてコーディネーターを配置、専門家を派遣
（相談窓口設置3か所、専門家派遣8事業体）
- ◆ 木材加工流通施設等整備への支援（3か所）
- ◆ 短尺材・枝条等木質バイオマスの収集運搬に対する支援（7地域協議会） 等

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の実施について

環境森林課

ウ 県産材の需要拡大の推進

住宅分野をはじめ、非住宅分野において、官民一体となった県産材の利用拡大及び都市部や海外での新たな需要開拓に取り組むとともに、木づかい運動の推進や家づくりへの支援などを通じ、県産材の需要拡大を促進した。

- ◆プロモーション活動の支援（県外展示会への出展：2回、海外展示会への出展：1回）
- ◆内装木質化等の支援（7件）
- ◆工務店等が行う県産材住宅のPR活動の支援（3件）
- ◆建築士のスキルアップセミナー等の開催（6回）
- ◆「みやざき木づかい県民会議」の開催（1回）

等

エ 特産林産物の振興

しいたけ等特産林産物の生産体制の強化や品質の向上に加え、ブランド産地づくりなどを進め、生産量の増大・販路の拡大に努めた。

- ◆原木しいたけ生産にかかる研修会の開催
（新規参入者対象の基礎研修3回、ステップアップ研修3回）
- ◆乾しいたけプロモーション
（県外：5回、県内：5回、原木乾しいたけ食育：小中学校3校、乾しいたけ料理の店認定：6店）
- ◆商談会や新商品開発等への支援（8事業体）

等

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

オ 研究・技術開発及び普及指導

試験研究機関の研究員や普及指導員の資質向上を図るとともに、現場ニーズを踏まえた試験研究に取り組むなど、高度で進取的な技術開発・普及指導体制の整備を推進した。

◆林業技術センター

（コンテナ苗の育成技術、シイタケ原木栽培におけるクヌギの寒切りを技術移転）

：2件（累計96件）

◆木材利用技術センター

（スギ精油を用いたアロマ製品の開発と利用技術、木材乾燥機からのスギ精油回収技術、造作用Ply Core CLTの製品開発、県産スギを用いたMLT耐力壁を技術移転）

：4件（累計85件）

等

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時現 況値 (R1)	実績値					目標値	達成率	目標値
			R3	R4	R5	R6	R7	R7		R12
素材生産量	千m ³	1,999	2,131	2,031	2,001			1,900	105.3%	1,900
製材品出荷量	千m ³	955	1,006	994	882			920	95.9%	920
木材輸出額	百万円	4,641	8,567	7,680	7,248			4,880	148.5%	5,017
乾しいたけ生産量	t	422	388	360	310			480	64.6%	505



軽労化への支援
(苗木運搬ドローン)



林業・木材産業経営等支援体制
構築事業 情報連絡会議



県外展示会出展



原木しいたけ生産研修

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の取組について

環境森林課

③ 森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

ア 山村地域の振興・活性化

山村の定住基盤の整備により安全で快適な生活環境の確保を図るとともに、地域資源を活用した商品開発や都市との交流促進等を図る取組を推進した。

- ◆ 治山工事（66か所）（山地治山:44か所、緊急治山:6か所、県単治山:16か所）(再掲)
- ◆ 特用林産業へのお試し就業（ショートステイ体験：5名）
- ◆ 九州自然歩道の維持管理（4か所）
- ◆ 自然公園の受入環境整備への補助（2事業）

等

イ 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成

意欲ある林業事業体や木材産業をリードする担い手を育成するとともに、新たな担い手の確保・育成や林業事業体の労働安全衛生の改善に努めた。

- ◆ 林業就業希望者に対する長期研修の実施（みやざき林業大学校「長期課程」:22人）
- ◆ 就業相談会の開催（相談者:16人）
- ◆ 労働災害防止大会の開催（1回、672人）、
リスクアセスメント研修の開催（2回、32人）

等

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の実施について

環境森林課

ウ 森林を育み、支える人づくり

森林環境税等を活用して、森林環境教育や木育に取り組むとともに、県民やボランティア団体、企業など多様な主体による森林づくり活動を推進した。

- ◆森林ボランティア団体活動支援（41団体）
- ◆苗木の提供（47団体、10,352本）
- ◆企業の森づくり協定締結（6企業）
- ◆森林環境教育の実践支援（学校等34件・地域自治会等18件）
- ◆地域の木育活動支援（13団体）

等

第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づく令和5年度の実績について

環境森林課

【主な指標と実績】

項目	単位	策定時 現況値 (R1)	実績値					目標値 達成率	目標値 R12
			R3	R4	R5	R6	R7		
自然公園利用者数	千人	9,289	5,709 (R2)	5,059 (R3)	6,101 (R4)			9,300 65.6%	9,300
みやざき林業大学校長 期課程研修受講者数 (累計)	人	21	61	82	104			111 93.7%	186
新規林業就業者数	人	211	155	180	210			150 140.0%	150
企業による森林整備・ 保全協定面積（累計）	ha	378	394	398	409			429 95.3%	472



御池野鳥の森散策イベント
（霧島錦江湾国立公園）



みやざき林業大学校長期課程
（伐倒研修）



森林ボランティア団体による
森林づくり活動



森林環境教育

野生鳥獣による農林作物等の令和 5 年度被害額について

環境森林部
農政水産部

1 令和 5 年度の被害状況

令和 5 年度の被害額は、約 3 億 4, 0 0 0 万円で、令和 4 年度より約 3, 3 0 0 万円、約 9 %の減少となった。

(1) 部門別・作物別被害状況

(単位：千円)

部門・作物	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	対前年度比
農作物	345,421	290,852	303,152	274,252	90.5%
果樹	141,892	124,633	133,115	110,626	83.1%
水稻	81,267	74,802	79,251	73,310	92.5%
野菜	69,173	48,453	39,598	40,949	103.4%
いも類	21,932	20,091	24,218	20,175	83.3%
飼料作物	25,730	18,755	24,456	26,391	107.9%
その他	5,427	4,118	2,514	2,801	111.4%
人工林	67,470	76,676	54,031	57,269	106.0%
特用林産物	10,112	15,476	15,668	8,100	51.7%
合計	423,003	383,004	372,851	339,621	91.1%

野生鳥獣による農林作物等の令和 5 年度被害額について

環境森林部
農政水産部

(2) 鳥獣別被害の状況 (単位：千円)

獣 種	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	対前年度比
シ カ	161,619	166,033	140,948	137,396	97.5%
イノシシ	122,896	108,347	108,696	102,147	94.0%
サ ル	56,373	45,010	45,477	43,663	96.0%
中小型獣	35,089	29,038	28,246	26,352	93.3%
鳥類	47,026	34,576	49,484	30,063	60.8%
合 計	423,003	383,004	372,851	339,621	91.1%

※鳥類には、カラス、ヒヨドリ等、中小型獣にはアナグマ、タヌキ等が含まれる

2 被害額増減の要因

- (1) 果樹、水稻及びいも類は、鳥獣を近づけない環境づくりや侵入防止柵の整備、有害鳥獣捕獲の推進に加え、ヒヨドリ、カラスの飛来数が少なかったこともあり、被害額が減少した。
一方、飼料作物はイノシシ、アナグマ、野菜はシカ、アナグマ等により被害額がやや増加した。
- (2) 人工林の被害は、主にシカによるものであるが、前年度から生息数が増加した一部の地域では、新たに被害が発生した場所があり、被害額が増加した。
- (3) 特用林産物については、捕獲対策や防護柵の設置などにより、しいたけ、たけのこ、しきみなど全体的に被害が減少した。

野生鳥獣による農林作物等の令和5年度被害額について

環境森林部
農政水産部

3 今年度の主な取組

- (1) 各地域の鳥獣被害対策特命チームを中心に、「守れる集落づくり」に向けた合意形成づくりや、放任果樹の伐採や草刈など生息環境の管理、効果的な侵入防止柵の設置・維持管理方法の指導、各集落における地域リーダーの育成等、地域と一体となった対策を推進する。
- また、地域キャラバンによる課題抽出や、現地指導を主体に集落に入り込むプッシュ型の重点現地支援に取り組み、優良な地域モデルの育成・県内波及を促進する。

- (2) 鳥獣被害防止総合対策交付金事業等を活用し、集落等における侵入防止柵の整備や捕獲対策を推進する。

また、維持管理のための見回りの省力化等が期待できる電気柵モニタリングシステムの広域的な実証や、わなの見回りの省力化やジビエの利用促進が期待できる捕獲通知システムの実証を通じ、ICTを活用した新たな被害防止対策を推進する。

重点現地支援
(延岡市北方町)

侵入防止柵の整備

ICTを活用した捕獲通知システム
(西米良村)

野生鳥獣による農林作物等の令和5年度被害額について

- (3) 人工林のシカ等による食害等を防止するため、引き続き、防護柵設置の支援を行うとともに、被害防止効果の高い強化型防護柵の設置や防護柵の適正な維持管理について普及を行う。
- (4) 特用林産物については、「しいたけ等特用林産物生産体制強化事業」により、電気柵や侵入防止ネット、人工ほだ場などの設置を支援する。また、「原木しいたけ生産新規参入者等基礎研修」において、鳥獣害対策関連の情報周知を行う。
- (5) シカ、サル等の生息状況及び被害の実態を把握するとともに、捕獲を推進するため、狩猟期間の延長等の規制緩和、有害捕獲及び狩猟による捕獲促進、シカの生息密度の高い地域における隣県と連携した捕獲を行う。
- (6) 狩猟者の確保・育成のため、免許の新規取得への助成、県民への狩猟のPR、狩猟体験や免許取得相談等を行うイベント開催、免許取得後3年未満の狩猟者へのシカ捕獲助成金の増額、初心者等への捕獲技術向上講習会を行う。



強化型防護柵（シカ対策）



しいたけの人工ほだ場設置



イベント開催（狩猟体験）

令和6年8月8日の地震による森林・林業関係被害状況について

自然環境課
森林経営課

山地被害 … 1件

被害箇所数：1市（日南市）1箇所

被害額：17,950千円

被害の概要：日南市の保安林内にて山腹崩壊が発生し、治山施設へ土砂等が流入



※林道及び県管理自然公園遊歩道の被害情報なし

令和6年台風第10号による森林・林業関係被害状況について（令和6年9月12日現在）

自然環境課
森林経営課

①林道被害

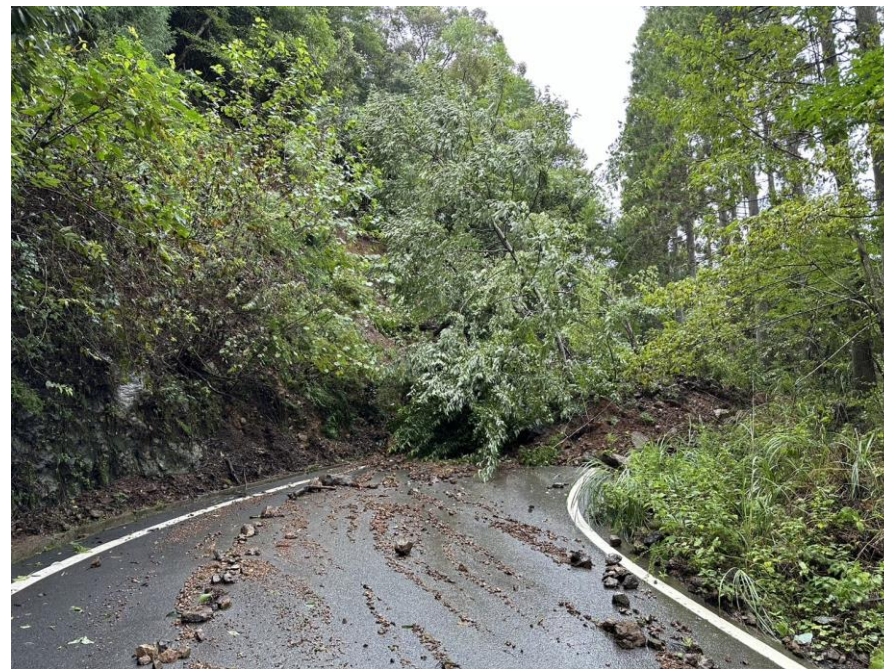
被害箇所数：14市町村 64路線 107箇所

被害額：634,800千円

被害の概要：法面崩壊、路肩崩壊等



椎葉村 十根川～三方界線



美郷町 笹陰線

令和6年台風第10号による森林・林業関係被害状況について（令和6年9月12日現在）

自然環境課
森林経営課

②山地被害

被害箇所数：11市町村 25箇所
被害額：1,223,600千円
被害の概要：山腹崩壊、土砂流出等



椎葉村 間柏原発電所の事務所兼倉庫が被災



令和6年台風第10号による森林・林業関係被害状況について（令和6年9月12日現在）

自然環境課
森林経営課

③自然公園被害

被害箇所数：3箇所（高千穂峡遊歩道、おせりの滝遊歩道（美郷町）、えびの高原六観音御池展望台）

被害の概要：手すり（転落防止柵）の一部流失および破損



高千穂町 高千穂峡遊歩道



美郷町 おせりの滝遊歩道